

ちゅうこうかいさんげっそうじゅぞう

中興開山月叟壽像

瑞穂町指定有形文化財

所在地：瑞穂町殿ヶ谷 1129 番地 福正寺内



げっそう きんりゅうざん
月叟禅師は金龍山福正

寺の13世住持で、福正寺の中興を成した名僧です。

この像は寄木造りで、製作当時、表面には胡粉ごふんが塗ら

れ、仕上げに彩色が施されていましたが、現在では剥落が進み着彩が部分的に残されている状態です。像

の高さは53cm、坐高37cm、膝張ひざはり26cmで、後世

に左手首、持物、椅子、杵が復元されました。月叟禅

師は明暦3年（1657）4月11日入寂にゅうじゃくされ、この像はその後、間もなく製作されたと伝えられています。